

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完結分
H25	1	峰山	高江インター隣接地へ「道の駅たかえ」（仮称）の設置について	企画政策課	商業施設の設置というのは、採算がとれるか、安定して継続的に経営ができるかといった、事業者側の判断によるところが大きく、西回り全線開通を見据えた、交通・人の流れがどうなるのか、そのようなものを見ないと施設の規模や内容等は整理できないと基本的に考えている。国・県・市、特に市が事業主体となった複合的なこの施設整備というものは、現時点では極めて厳しいものであり、公共関与での整備・構想は、今、持ち得ていないというのが実情である。毎年、要望をいただいているが、実情を御理解いただきたい。	商業施設の設置は、事業者側の判断によるところが大きく、西回り全線開通を見据えた判断も必要と考える。国・県・市、特に市が事業主体となった複合的な施設の整備は、現時点では極めて厳しく、公共関与での整備構想は、持ち得ていない。	商業施設の設置は、事業者側の判断によるところが大きく、西回り全線開通を見据えた判断も必要と考える。国・県・市、特に市が事業主体となった複合的な施設の整備は、現時点では極めて厳しく、公共関与での整備構想は、持ち得ていない。	・平成27年4月に事業化された阿久根川内道路の整備により全線開通となった場合には、現在よりも物流や交流人口が増加し、地域内外との交流が活発化すると予測しており、地域の経済活動にマイナスの要素が働かないよう整備完了までに観光をはじめとする産業面の施策を重点的に展開し、必要な環境を整備していく考えである。 ・ただし、国・県・市、特に市が事業主体となった複合的な施設及び商業施設の整備は、現時点では極めて厳しく、公共関与での整備構想は、持ち得ていない。					
H25	2	澹浪	久見崎町中心部を通る県道のバイパス化	建設維持課	この構想については、大変大きな予算を必要とすること。地権者がかなり多いと予測されるので、地権者の方々の賛成に対する同意。農地法に係る農振除外とか、森林法に係る保安林の解除等の国・県の手続きをクリアしなければならぬ課題もあるが、非常に効果は大きいと思う。今後、どのような形でこのような道路ができるか突破口を見出す意味でも、道路管理者である鹿児島県・国の関係機関へ積極的な協議・検討をしてみたい。	用地交渉等のバックアップ体制について協議検討。	用地交渉等のバックアップ体制について協議検討。	用地交渉等のバックアップ体制について協議検討。					
H25	3	寄田	借上型地域振興住宅の建設	建築住宅課	寄田地区におかれては、旧市営住宅跡を提案され、場所的にも非常に良いということで、本年度これに向けて事業を起しているところである。 現在、市内の建築の指名業者49社に募集要領を送付し、手を上げていただくように、募集中である。業者さんが決まれば、すぐに建築に入れると思うが、現在は業者さんとの質疑・応答中である。しばらくすると、その結果がでると思う。	25年度で、事業者を公募したが、応募がない状況だったので、26年度も継続して、公募してしていく。	今年度、事業者を公募し、民間の土地に2棟2戸を建設した。 28年8月から共用開始予定である。	・今年度、事業者を公募し、民間の土地に2棟2戸を建設した。 ・28年8月から共用開始予定である。		○	○	○	○
H25	その他	寄田	県道43号歩道沿い（法面）の枯れた松の伐採	林務水産課	検討したい。	県道の法面は鹿児島県の所有地であり、北薩地域振興局の所管課に依頼し、一部は除去された。 また、市においても、松くい虫駆除を行う区域の県道沿いは伐採したところである。 今後も引き続き、県に要望していく。							○
H25	その他	峰山	湿田に対する助成	耕地課	耕地課へ繋ぎたい。	集落基盤整備事業の採択に向け農村振興基本計画を策定した。今後基礎調査を実施し、国の事業採択になれば基盤整備を実施したい。	基礎調査を行い地元説明会等を行った。今後も基盤整備事業の実現に向け協議して行く。						○
H27	1	峰山	農業用水のバイパス化と水田の集積・集約化の実現について （水田基盤整備方策の中で農業用排水施設整備と農地中間管理機構など活用の農地集積化・集約化など早期に実現可能な最適な事業選択への支援）	耕地課	農業用水のバイパス化の御提案についても、補助事業の採択にあたっては、農地の50%以上の集積を行う必要がある。また、受益者の方々の同意も必要となる。今後、受益者の皆さんと協議を行いながら検討してまいります。								○
H27	1	峰山	農業用水のバイパス化と水田の集積・集約化の実現について （水田基盤整備方策の中で農業用排水施設整備と農地中間管理機構など活用の農地集積化・集約化など早期に実現可能な最適な事業選択への支援）	農政課	農地中間管理機構による地域集積協力を活用する、農地の集積・集約化する事業の採択要件としては、地域の全体の20%以上の集積面積が必要となることや、未相続地の場合は、相続人の過半数の同意を必要とする等、様々な要件がある。 これらの採択要件が地域の話し合い等で満たされた場合には、当該事業に取り組むことが可能となる。その際には、市としても地域の事業推進に積極的に取り組んでまいります。								
H27	1	峰山	農業用水のバイパス化と水田の集積・集約化の実現について （受益者負担金が0になるように支援）	耕地課	受益者負担を0にとの御要望であるが、土地改良施設の整備については、受益者負担の原則により、地元負担金を徴収することになっているので、御理解をお願いしたい。								○
H27	1	峰山	農業用水のバイパス化と水田の集積・集約化の実現について （食用米・加工米・飼料米の販路確保、米の六次産業化への支援）	六次産業対策課	六次産業化に対する支援ということで、要件に合えば、補助金を使っただけ、市から支援することは可能である。 他の地区で、棚田米のオーナー制度を活用した六次産業化の御相談を受けている事例もある。計画承認までには、かなり時間を要するかもしれないが、皆様方も積極的に六次産業対策課へお越しいただければ有難い。								
H27	1	峰山	農業用水のバイパス化と水田の集積・集約化の実現について （経営体育成支援事業等様々なものがあるので、薩摩川内市から計画を策定していただき、県へ要望していただきたい。）	耕地課	ほ場整備や過去の潜水防除の件で、お話をいただいた。バイパス化はできないということではなく、一緒に検討するということになる。やはり、検討するには、かなりの相続問題等もあるわけであり、かなりの時間も要する。この間、何もしないことでもなく、既存の老朽化した用排水路等もあるかと思うので、これらについては、少しずつでも手を入れたい。まずは、検討させていただきたい。								○

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完結分	
H27	2	澹浪	交通量の多い県道のバイパス化について	建設政策課	県、九電、市の三者で、具体的な協議に入っている。できるだけ早い時期に皆様方に整備手法等の説明ができればと考えている。本件に限らず、大規模な道路整備については、関係各庁との調整や法的なルールのクリアー等の課題がある。現在は、県・市の担当部局で随時、作業も行っているため、もうしばらくお時間をいただきたい。			県・九州電力・市の三者で県道バイパスの協議が整ったため、平成28年度4月から地元説明会を実施し、その後、地域住民、地権者の御協力を得て現地調査・測量を実施する予定である。						
H27	3	寄田	寄田地区から東方向に抜ける避難道路の改修・新設について	建設整備課	この件については、以前、寄田・土川地区の全自治会長さんが来られ、要望書をいただいた。要望されたルートとしては、池ノ段から下り毎床を通り、寄田・青山線の林道へ行く。もう一つは、新田から轟川を上り、池ノ段から下るところと合流する。もう一つは、寄田の中心地から上野集落を通って、林道へ抜ける。これら3ルートであった。まずは上野集落を通過し、林道を経由し、青山へ抜けるルートを最優先させたい。このルートで、今回の12月議会に予算を計上し、可決をいただいたので、年明け早々に測量設計に入る。図面が出来次第、用地買収の不要箇所や早く用地買収に御協力いただける箇所について、4月から、早速、工事に入る予定である。ただし、予算の都合もあるので、3ルート同時の工事は厳しい。上野集落ルートを優先させながら、予算の状況を見て、他のルートについては、検討を進めさせていただきたい。			下記の建設維持課で対応する。 (所管課を建設維持課として一つにまとめる。)						○
H27	3	寄田	寄田地区から東方向に抜ける避難道路の改修・新設について	建設維持課	この件については、以前、寄田・土川地区の全自治会長さんが来られ、要望書をいただいた。要望されたルートとしては、池ノ段から下り毎床を通り、寄田・青山線の林道へ行く。もう一つは、新田から轟川を上り、池ノ段から下るところと合流する。もう一つは、寄田の中心地から上野集落を通って、林道へ抜ける。これら3ルートであった。まずは上野集落を通過し、林道を経由し、青山へ抜けるルートを最優先させたい。このルートで、今回の12月議会に予算を計上し、可決をいただいたので、年明け早々に測量設計に入る。図面が出来次第、用地買収の不要箇所や早く用地買収に御協力いただける箇所について、4月から、早速、工事に入る予定である。ただし、予算の都合もあるので、3ルート同時の工事は厳しい。上野集落ルートを優先させながら、予算の状況を見て、他のルートについては、検討を進めさせていただきたい。			H28.3月に市道寄田・上野線の測量設計を契約し作業を進めており、5月中旬に地元説明会を開催し、早急に工事着手したい。			○	○		
H27	他		PAZである5km圏内の旧高江村や水引を含めた地区では、このような道路問題、里道問題、農道問題も結構ある。こちらについては、全体的・重点的に対応をお願いしたい。	建設政策課	-			高江・水引地域では西回り高速道路・県道等、地元の御協力で国県事業等が進展している。地域の道路問題については、要望を検討して、それぞれの所管課で予算の状況を見ながら進めてまいりたい。						
H27	他		PAZである5km圏内の旧高江村や水引を含めた地区では、このような道路問題、里道問題、農道問題も結構ある。こちらについては、全体的・重点的に対応をお願いしたい。	農政課	-			他課で回答（広報室に報告済）						
H27	他	峰山	八間川と牟田川の合流地点に木製の井堰がある。転倒井堰化を以前から要望しており、地区振興計画にも出している。これは県も絡む話であるので、比較的市の負担も少ないと思われる。水が出た時、人手では上げられない。また、この川が農業用水路の一部を兼ねている。転倒井堰化を前向きに取り組んでほしい。	耕地課	-			採択可能な事業について、検討中である。						